

～ 日本海難防止協会シンガポール連絡事務所発SRO news ～
(Ref No : 22-015)

1 パラオとツバルは、太平洋諸島フォーラム（PIF）首脳会議において、両国の外交関係を樹立する書簡に署名した。ツバルはパラオと外交関係を樹立した11番目の太平洋島嶼国となった。パラオと外交関係を持つ他の太平洋島嶼国は、ミクロネシア連邦、マーシャル諸島、キリバス、フィジー、豪州、ニュージーランド、ソロモン諸島、クック諸島、パプアニューギニア、ナウル、そして今回のツバルであり、PIF加盟国で外交関係を持たないのはトンガ、サモア、バヌアツ及びニウエの4カ国となっている。

[原文](#)

(19th July 2022, Island Times)

2 パラオのウィップス大統領は、「太平洋諸国の結束の重要性を認識して豪州は、6月と7月の太平洋諸島フォーラム（PIF）の会合でミクロネシア地域首脳のために（会場までの）航空便を用意してくれた」と述べ、太平洋の首脳直接会談を実現し、太平洋の結束を支えている豪州政府に感謝の意を示した。

[原文](#)

(22nd July 2022, Island Times)

3 パラオのウィップス大統領は、海上自衛隊護衛艦「きりさめ」の坂田艦長の招待を受けて、同艦に乗艦し、儀仗兵による荣誉礼、艦内見学、表敬式典に参加した。在パラオの柄澤大使、センゲバウ副大統領兼法務大臣、アイタロー国務大臣、オビアン公共基盤・産業大臣、メトゥール人材・文化・観光・開発大臣、ジェンキンス教育大臣らも参加した。ウィップス大統領は、「（現場での）プレゼンスが抑止力になる。きりさめのパラオ訪問は、自由で開かれたインド太平洋に対する我々（両国）のコミットメントを示すものだ。世界、特に太平洋地域における安全保障、自由、民主主義、法の支配に対する日本の国民と政府からの支援とコミットメントに感謝する。」と述べた。

[原文](#)

(22nd July 2022, Island Times)

※参考：在パラオ日本国大使館（[リンク](#)参照）

4 パラオ国際サンゴ礁センター(PICRC)とモナコ科学センター(Scientific Center of Monaco)は、パラオの島々、サンゴ礁、ビーチの至る所でプラスチック汚染が発生しているという、厳しい現実を突きつけるような調査結果を発表した。

[原文](#)

(22nd July 2022, Island Times)

5 第 51 回太平洋諸島フォーラム (PIF) 首脳会議コミュニケ (全文)

[原文](#)

(14th July 2022, Pacific Islands Forum Secretariat)

6 ニュージーランド (NZ) のヘナレ国防相は声明で、NZ 海軍艦艇 2 隻 (外洋哨戒艦と測量艦) を太平洋諸島に 3 か月間派遣し、太平洋諸島のパートナーに海上セキュリティその他の支援を提供することを発表した。P-3 オリオン偵察機とともに太平洋地域に展開し、違法漁業の監視と抑止のほか、戦時中の不発弾の捜索などの任務を行う。

[原文](#)

(22nd July 2022, Channel News Asia)

7 クック諸島、サモア、米領サモア、仏領ポリネシア及びハワイで激しいうねりにより洪水が発生し、米領サモアの空港やクック諸島のリゾート地のインフラを破壊した。仏領ポリネシアでは国内線の一部が欠航し、ハワイでは最大 6m の波が発生してビーチが閉鎖された。米領サモアは非常事態宣言を発令した。アメリカ海洋大気庁 (NOAA) によると、Roaring Forties (南緯 40 度~50 度付近) で西向きの風が継続的に吹いており、その近辺の暴風雨海域でうねりが発生しているという。

[原文](#)

(21st July 202, Radio NZ)